

## 薬学研究科医療栄養学専攻（博士前期課程）

### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

薬学研究科医療栄養学専攻（博士前期課程）は、栄養学・栄養管理分野の学問的基盤に関連した、専門性の高い能力および広い視野と高い興味を有し、豊かな人間性と社会性を兼ね備え、国際化への対応が求められる地域社会の維持・発展を積極的にリードする人材の育成を目的としています。

本研究科医療栄養学専攻（博士前期課程）のカリキュラムにおいて所定の単位を修得し、提出した修士論文が専攻内規に則って審査され合格と判定された人は、以下に掲げる能力を身につけていると判断され、修士（医療栄養学）の学位を授与します。

- 広い教養と深い専門的な知識と技能を備え、国際化への対応が求められる社会でリーダーとして活躍できる能力
- 栄養学・栄養管理、薬学、医学の素養を身につけた高度専門職業人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、積極性、表現力や道徳的能力
- 社会の多様性に配慮して、主体的かつ協働的に実社会においてリーダーとして貢献できる能力
- 最近の生命科学の進展の成果を基礎として、食、薬、毒の生体作用を、物質によって引き起こされるものとして同列に議論することができる能力
- 食品と薬の相互作用を念頭に置き食毒性を考慮した高度な栄養管理と栄養教育の実践、食品を生理学的、薬力学的、毒性学的に評価し、これらがヒト恒常性に与える影響を分子のレベルで理解、健康と栄養を政策面・管理面から広く評価・実践、のいずれかができる能力
- 医療栄養学の基礎科学的探究のみならず、先進の探求的研究を統合的に理解して、種々要因のグローバルな変化が地域社会で暮らす一人ひとりの健康増進にどのような帰結をもたらすかを評価し議論できる能力

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

薬学研究科医療栄養学専攻（博士前期課程）では、それぞれの専門分野（医療栄養、食毒性、栄養政策管理）において、グローバルな視野を有し高い専門性を身につけた高度専門職業人を養成することを目的とするため、以下のカリキュラムを設定しています。

- 先端医療栄養学特論、総合医療栄養学演習、病院・保険薬局実習を含む各分野の特論を選択・必修科目として、高度で専門的な知識の修得および学識の涵養を図り、グローバルな視野をもち、地域社会の維持・発展に寄与する栄養管理における専門職業人を養成します。
- 特論演習では、それぞれが専門とする分野において求められるスペシャリストとしての高度な知識と技能の修得を目指します。
- 修士論文研究では、主研究指導教員との綿密な協議に基づいて研究方針を策定し、副研究指導教員も加えて形成的な評価を目的とした定期的なディスカッションをと

おして課題研究を遂行し、最終的に修士論文として完成させることにより、高度な研究能力を養成します。

- 論文作成法特論では、研究・生命倫理に係る事柄やその他各種レギュレーションに関する事柄を理解し、適切な論文作成に向けた知識・技能・態度を身につけます。
- 栄養教諭一種免許状を有している人が、所定の単位を修得すれば栄養教諭専修免許状を取得できるカリキュラムを編成しています。

### アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

薬学研究科医療栄養学専攻（博士前期課程）では、医療栄養分野、食毒性分野および栄養政策管理分野において、以下に示すいずれかの学力や意欲を有する人を受け入れます。

志向性：将来の進路

- 自然科学における基本的な知識を発展させ、グローバルレベルで研究推進能力を人々のために活用しようとする強い意欲のある人
- 栄養学と医療、特に薬学との関係に興味と問題意識をもち、専門性の高い問題解決能力を身につけたいと思う意欲のある人
- 薬学分野と食品・栄養分野の中間に位置する Pharma-Nutrition 分野を独立した分野（薬科学分野）として発展させたいと思う意欲のある人

期待する能力：知識・専門性

- 医療栄養学専攻（博士前期課程）において研究を行うために必要な基礎学力とプレゼンテーション能力を有する人
  - 栄養士・管理栄養士資格を有している人
  - 栄養や健康に関連した政策学や経営学に興味をもてる人
- 入学前に学習しておくことが望ましい教科・科目：卒業研究、英語、生化学、生理学、栄養学、薬理学、経営学、公衆衛生学など

期待する能力：関心・態度・人格・思考・判断・実践的スキル

- 大学または社会で学んだ教養をさらに深化させ、専門知識のさらなる向上のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を考えると同時に、倫理的な態度をもってそれらの解決に意欲的に努力する人

(2021年4月入学者用)